公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
私費留学奨学生　募集要項
（春募集）

2027年　4月期　私費留学奨学生

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。
- ・学業に優れ、学業に専念する者
- ・日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・学んだことを社会に役立てる意欲のある者

・　応募に必要な書類は当財団のホームページからダウンロードできます。

https://www.sisf.or.jp

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次の学生を対象に私費留学奨学生の春募集を行います。

【募集対象】
2027 年 4 月に編入又は入学する者
- 学部生（日本の高等専門学校又は専門学校から大学学部に編入する学生）
- 院　生（修士課程又は博士課程に進学する新 1 年生）
  ※ 留年による最短修業年限超過者は対象外

【応募資格】
以下の条件をすべて満たすことが必要です。（再応募可）
1. 日本国及び下記対象国以外の国籍を有していないこと
   対象国
   東南アジア諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール）
   南西アジア諸国（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ）
2. 応募時に日本に居住していること
3. 在留資格「留学：college student」を有し、文部科学省所轄大学に在籍する私費留学生（短期大学生及び研究生を除く）
4. 他の機関から奨学金又はこれに類する金品、給与等を受給していないこと（TA/RA の報酬及び貸与奨学金の受給は可）※
5. 私費による留学生であること（国費や公費、社費等による留学生は対象としない）
6. 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと ※
7. 日本で就業している親がいないこと
8. 「博士」の学位を取得していないこと
9. 奨学金受給開始後の課程修学期間が 1 年以上であること
10. 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること
11. 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること
12. 当財団の交流会に出席すること（年 6 回、主に東京で開催）
13. 奨学支援期間終了後も当財団の卒業生として積極的に交流する意思があること

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

【奨学金】
1．支給額　学部生　月額 18 万円
　　院　生　月額 20 万円

2．支給期間　2 年間
- 2027 年 4 月から 2029 年 3 月まで

- 2 年内に標準修業年限が終了する場合は、その年限までとする。
- 標準修業年限が 2 年を超える場合
  学部生　財団採用時において標準修業年限までの期間が 2 年を超え 3 年に満たないときに限り、標準修業年限まで支給する。
  博士課程　財団在籍中に選考委員会による延長審査を行う。審査に合格した場合には、支給期間を延長し、標準修業年限まで支給する。審査に不合格の場合には、支給期間は延長しない。延長審査は、財団が採用したときから約 18 ヶ月後に開催する選考委員会で行い、日時、方法、提出資料等は事前に通知する。

3．支給方法　2 ヶ月に一度、2 ヶ月分を本人名義の口座に振込

４．その他の支援制度（奨学金以外に下記の補助があります。）

・　授業料等補助金：半期 50 万円まで（繰越し不可）
・　学会出席補助金（院生対象）：年間 20 万円を上限（繰越し可）
　※　但し、在籍期間が一年に満たないときは、その半額を年間限度額とする。

【募集人数】若干名

【応募書類】※　書類不備の場合は応募を受け付けません。

・　2027 年 4 月に在籍する大学・学年を記入してください。
・　提出書類様式 1～3 は黒のボールペンで自筆（ひらがな可）にてしっかりと記入してください。
・　成績証明書、研究計画書等を含むすべての提出書類の右上に「受付番号」を記入してください。
・　合格者には応募書類原本を提出してもらいます。結果発表まで原本を保管してください。
・　一貫制の博士課程は、最初の 2 年を修士課程、3 年以降を博士課程とみなします。
・　新編入・新入の学生は、合格証明書もしくは合格通知書が添付できない場合、応募できません。
・　当財団奨学生経験者には、エッセイテーマを別に設けています。当財団ホームページ「奨学生のページ」から再応募用の様式をダウンロードしてください。

○：必須

応 募 書 類	用 紙	学部	修士	博士	備　考
履歴書 1	様式 1	○	○	○	日本語　自筆
履歴書 2	様式 2	○	○	○	
エッセイ	様式 3	○	○	○	日本語　自筆　（所定用紙 A4　2 枚） 黒ボールペン使用
指導教員推薦書	様式 4	○	○	○	・推薦状は一通とします。 ・指導教員未定の場合は、その他の教員又は身元保証人等によることも可 ・英文の場合は、日本語訳を添付
評価書	様式 5	－	－	○	
学業成績表		○	○	○	資料Ⅰ参照
研究実績	A4	－	○	○	日本語　PC 入力可　資料Ⅱ参照
研究計画書	A4	－	○	○	日本語　PC 入力可　資料Ⅱ参照　　1 枚
合格証明書		○	○	○	「合格証明書」もしくは「合格通知書」

【応募締切】

A)ホームページ応募受付締切　　2026 年 12 月 11 日（金）正午

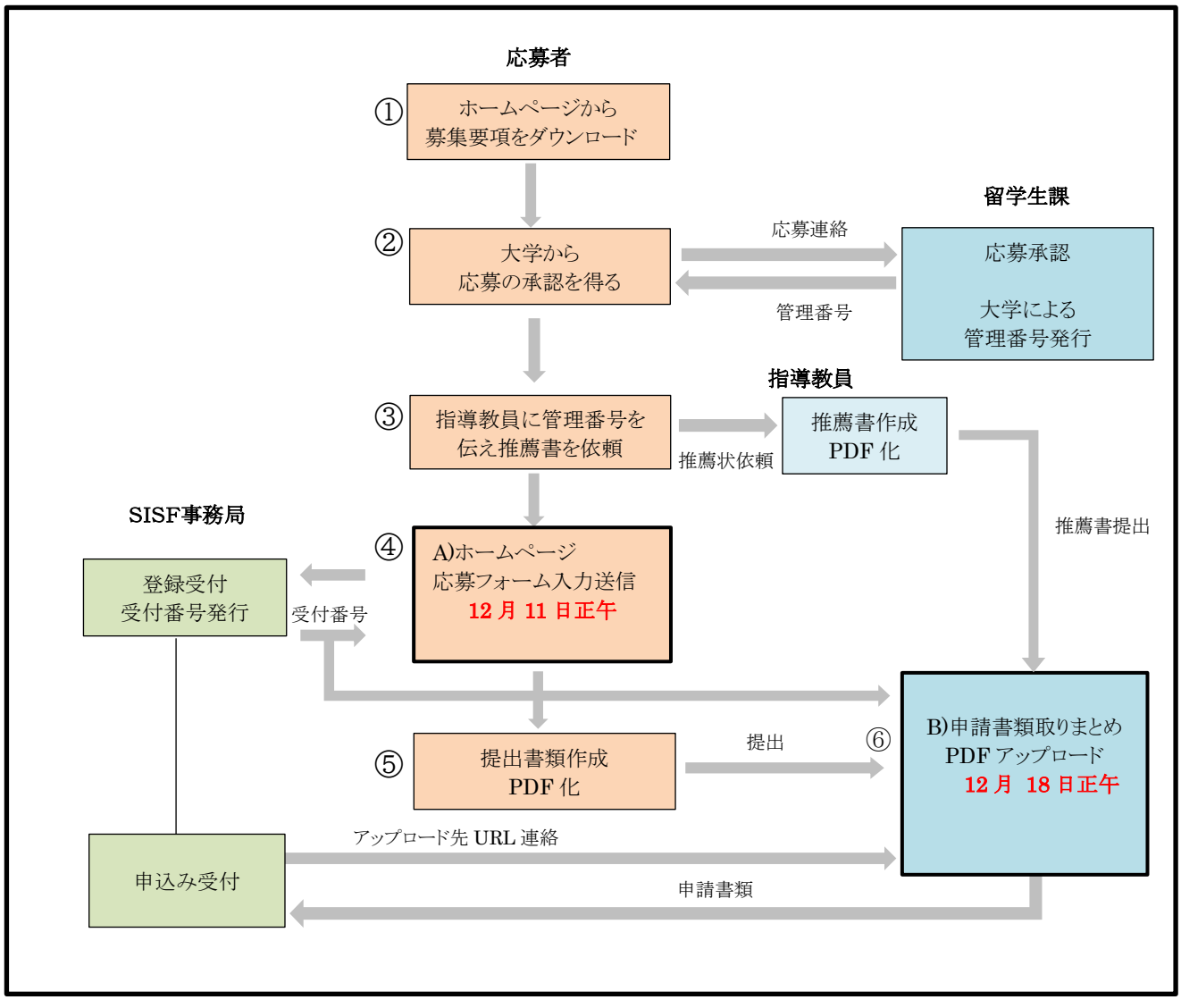
応募者は締切日までに当財団ホームページ応募フォームに必要事項を入力・送信すること。
受付締切後、すみやかに PDF 書類の送付先 URL を留学生課に通知します。

B）書類アップロード締切　　2026 年 12 月 18 日（金）正午

大学の留学生課は締切日までに提出書類を取りまとめてアップロードしてください。

【応募方法と応募の流れ】　応募に関する FAQ は当財団のホームページに掲載しています。

① ホームページから募集要項をダウンロード
② 進学先大学の留学生課から応募の承諾を得て管理番号を取得
進学先大学による手続きが不可能な場合は、2026 年 12 月時点の在籍校（日本国内に限る）を窓口としての応募も可
③ 指導教員に管理番号を伝え推薦書を依頼
④ ホームページの応募フォームに必要事項を入力し「受付番号」を取得
⑤ 提出書類を作成し、以下の設定でスキャンし PDF 化
解像度：300dpi　　履歴書 1 はカラー、その他のページは白黒
⑥ 留学生課にて提出書類を取りまとめアップロード
PDF 化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、送信してください。
書類が読み取りにくい場合、選考に不利になることがあります。



【選考及び結果発表】

一次　書面選考　選考結果は 2027 年 2 月 10 日までに、当財団ホームページ（日本語）にて、合格者番号を発表
一次選考合格者及び申請窓口大学には、二次選考日時等について連絡します。

二次　面接選考　2027 年 2 月 20 日又は 2 月 21 日
面接はオンラインにて日本語で実施。面接時には必ず日本にいること

二次　合格発表　選考結果は 2027 年 2 月 24 日までに、当財団ホームページ（日本語）にて、合格者番号を発表
合格者及び申請窓口大学には、合格について連絡します。

※合格した学生は、認証式（2027 年 4 月 10 日 東京で開催予定）への出席が必須です。

【留意事項】

① 当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金の支給停止や奨学生の資格停止となることがあります。事前にホームページ（https://www.sisf.or.jp）で「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。
② 他の奨学金の採用が決定した場合、大学を通じて当財団にすみやかに連絡をお願いします。
③ 「自筆」と指示のある申請書は、必ず黒ボールペンで本人が記入してください。

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

【問い合わせ先】

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団
〒108-0023　東京都港区芝浦 3-1-1　田町ステーションタワーN
TEL　03-6435-3388
URL　https://www.sisf.or.jp
E-mail　sisf@sato-global.com

【私費留学奨学生採用実績国】

当財団は ASEAN 及び南西アジア 18 ヶ国から日本に留学する私費留学生を支援しています。これまでに延 718 名を支援し、その内訳は次の通りです。

ベトナム	139	マレーシア	134	インドネシア	131
タイ	71	バングラデシュ	46	スリランカ	35
カンボジア	33	インド	29	ラオス	23
ネパール	22	ミャンマー	23	フィリピン	15
シンガポール	8	パキスタン	7	ブータン	2

（1996 年設立時～2026 年 10 月現在）

資料 I

学業成績表の提出について

- 下表該当欄の学業成績表を提出してください。
- 日本で発行される学業成績表は原本を提出してください。
- 母国で発行された学業成績表には必ず「和訳」又は「英訳」の成績表を添付してください。
  翻訳成績表には必ず証明印（サイン）をつけること。翻訳成績表添付の場合、母国語の成績表は不要
- 指示のない資格証明書や賞状は添付しないでください。

2027 年 4 月 在籍（進学）課程	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部新編入生	学業成績表	高校在籍期間中全ての学業成績表と在籍大学の直近まで全ての学業成績表 日本語学校に通った場合は、その成績表も添付
	日本留学試験成績確認書	日本留学試験成績確認書がない場合は、様式 1「提出資料の有無（日本留学試験成績確認書）」欄の無に〇印
大学院生※ （修士・博士）	学業成績表	学部1年から直近まで全ての学業成績表

※ 高等専門学校もしくは専門学校からの編入生（編入経験のある大学院生含む）は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出してください。

【学業成績表への記入項目】 ※用紙の向きにご注意ください。

① 該当時期

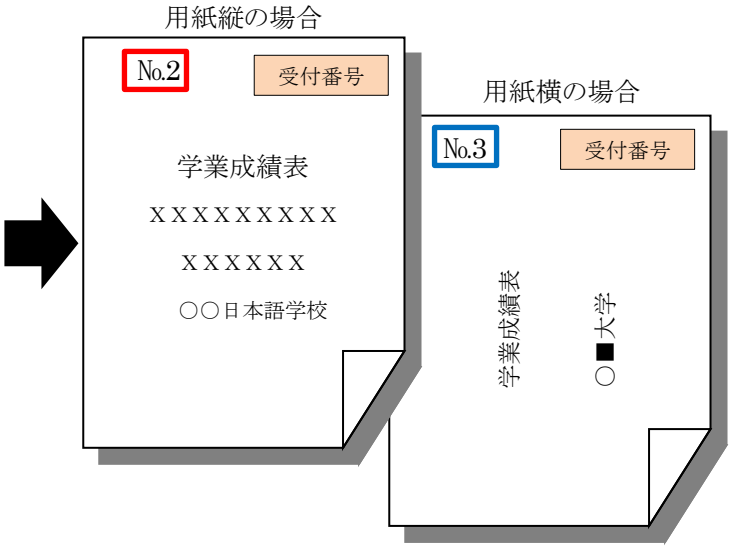
提出する学業成績表が、様式1「学歴」欄に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表の左上にNo.を記入し、番号順に提出してください。

② 受付番号

当財団から通知された受付番号を右上に記入してください。

【記入例】

No.	期　間	学校名
1	2012 年 10 月から 2015 年 9 月まで	〇〇高校
2	2015 年 10 月から 2016 年 9 月まで	〇〇日本語学校
3	2016 年 10 月から 2020 年 9 月まで	〇■大学



資料Ⅱ

「研究実績」及び「研究計画書」の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」、「受付番号」を右上に記入して提出ください。

■研究実績

・ 下記①～⑥に該当するものを書いてください。（何件書いても可）

①公刊論文 （レフリー付・レフリーなし）	論文題名／著者（全員）／ジャーナル名／出版社／発表年／巻／ページ（最初と最後のページ）
②学術論文	論文題名／著者（全員）／ジャーナル名／出版社／発表年／巻／ページ（最初と最後のページ）
③学術発表（国内）	論文題名／発表者（全員）／学会名／開催場所／ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表（海外）	論文題名／発表者（全員）／学会名／開催場所／ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
⑤著書	題名／発表者（全員）／出版元／出版年等
⑥卒論及び修士論文のテーマ	実績がない人は、「なし」と記載して下さい（例：修士論文なし）

※論文コード（DOI）がある場合は記載ください。

（研究実績を作成するにあたり）

・ 日本語、A4 サイズ（PC 入力可）
・ 公刊論文、学術論文、学術発表、著書、その他の分類別・年代の新しい順に記入。
・ 著者又は発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前には下線を引いてください。口頭発表は、発表者に*を付記してください（例：*佐藤）
・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要。
・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に博士号取得要件と明記。
・ ①公刊論文（レフリー付）で査読中の場合は、その旨を明記してください。
・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリー（A4、1枚以内に必ずまとめて下さい）も可とします。それでも実績が無い場合は、履歴書-1（様式 1）の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に〇をつけてください。

■研究計画書

・ 日本語で、研究テーマと研究要旨を含め A4 用紙 1 枚にまとめてください。
（ワープロ可、図表使用可）
・ 専攻、研究テーマは、専門外の人にも理解できるよう、わかりやすく書いてください。